

## 会長メッセージ

### 「五輪スローガン」

世界的に新たにオミクロン株の感染拡大という環境の中、冬季オリンピック・パラリンピックが北京で開催され多くの話題を残して閉幕しました。ところで近代オリンピックは1894年アテネ大会から始まりましたが、発足以来「より速く、より高く、より強く」というスローガンが提唱され、「より優れた存在になる」、「一段と上を目指す」という意味で愛されきました。これが2世紀ぶりに「共に (together)」という言葉が追加され、今後新たな五輪スローガンは、「より早く、より高く、より強く」共に」となるそうです。昨年夏のIOCの会合で採択された際、バツハ会長は、ますます多様化する社会にあつて、一人一人がより優れた存在になる、一段と上を目指すというだけでは無く、共に手を携え合つて困難を乗り越えていこう、という強いメッセージだと強調していました。

そしてこの困難な環境の中「共に・より高みを目指す」という考え方は、まさに今、私たち関西吟詩が「自律自



総本部長 地藏 哲暲

助の精神」で一丸となつて難局を乗り越えようとしていることに通じると思いました。

### 「四国地区吟詠普及研修会の挑戦」

このことを実証するような新しい動きとして、「四国地区連合会」の皆さんが活気的な試みをやってくれました。各地の吟詠普及推進研修会はコロナ禍により開催できずにはいますが、今回初めてZoomを活用し、四国地区の高知・徳島両県と総本部を結ぶオンライン研修会であり、まさにコロナに打ち克つて共に手を携えて高みを目指そうとするものでした。カリキュラムは従来通りで、講師は大阪から挨拶・講演・吟詠研修・個人レッスンをを行い、受講生はそれぞれの地元の会場で画像と音声を通じて一緒に学ぶというものです。戸惑いもあるが指導部の先生とのマンツーマンの個人レッスンも十分迫力があつたし、会場で聞いている方々にも大いに勉強になつ